



こんなのはじめて
温泉効果が
ぎゅっしり詰まった
ファンゴで
汗が止まらない!

温泉の湯船に泥の入ったバケツが
ずらり。自家源泉を50℃に温めて
かけ流しにしてファンゴを熟成さ
せています。庄川の美しい山の景色
が見える浴室の中央には施術のベ
ッド、なんとも不思議な光景です。
「庄川バイオファンゴセラピー」の
スタートは、2種類の温泉に入ること。

イタリアのアヴァノでは療養とし
て利用されていることもあり、こ
でも血圧測定やカウンセリングを
しっかり行います。泥の感触は柔ら
かくてなめらか、主要な関節のポイ
ントにのせると、じんじん温かさが
しみてきて、あつという間にあちこ
ちから汗が流れ出してきました。

[庄川温泉郷]

三楽園にて、 サハラ疲れは泥んこスパで 滝汗デトックス

日本の温泉で「本格温泉ファンゴ」を実現しようとしているスパを見つけました。
選び抜いた泥を50℃に保った温泉で3週間以上熟成すると、
温泉パワーがぎゅっしり詰まった「庄川バイオファンゴ」ができあがります。

アンナが完全報告

庄川バイオファンゴセラピー60分+アロママッサージ90分

最初から最後まで♡



1 2種類の温泉に入浴。2 血圧測定の後、ファンゴを50℃の温泉から引き上げる。3~5 広げて適温にしたファンゴの上に横たわる。お尻から肩まで背中直接ファンゴが密着。6~8 ひざ、足首、肩から腕全体にたっぷりファンゴが塗られていく。足が冷え性なのでちょっと熱く感じた。でもなめらかですごくいい気持ち。すでに汗が流れてきた。9 足をマッサージ。10 綿麻の布、アルミの防熱シート、毛布でぐるぐる巻きに。11 クレオパトラになった気分。温泉ミストも充滿する部屋でこのまま20分。みるみる全身が紅潮し驚きの発汗。時々冷たいタオルで顔を拭いてくれるのが幸せ。あまりの汗に5分前でギブアップ。12、13 シャワーで流してスパルームへ移動しオイルを選んで全身マッサージ。14 フェイシャルのリンパマッサージが超ゴッドハンド! 最後に頭皮も。

start!

finish!

案内するひと



石井宏子さん

温泉ビューティ研究家としてわざわざ行きたくなる「旅スパ」を探すべく使命感に燃えています。イタリアのアヴァノに学んだ本格温泉ファンゴは日本初。期待がふくらみます。

旅するひと



梅宮アンナさん

サハラマラソンから帰ってきました。ダイナミックな体験に元気をもらったけれど、強烈な暑さと乾燥で体とお肌はぼろぼろ。日本の温泉と、旅館の食事でも楽しみます。

今回の「旅スパ」

鳥越の宿 三楽園

富山県砺波市庄川町金屋839
☎0763-82-1260 露天風呂付き客室で特選会席の夕食の場合、2名利用で1泊2食一人平日¥30,500。庄川バイオファンゴ60分¥10,000、アロママッサージはガーデンコース90分¥15,000。



今月のゴッドハンド



松田桂子さん

先日はイタリアのアヴァノへ研修に出かけ、庄川バイオファンゴセラピーに情熱を燃やします。スパトリートメントの確かな技術は、某有名ブランドのチーフセラピストだった人が東京から定期的に来て、トレーニングを受けている賜物。

スパルーム



エステサロン Garden

遠くからエステと温泉だけに通ってくる顧客も多い本格サロンは宿の3階(写真上)。広い専用ロビーで山の景色を眺めてのんびり。ボディやフェイシャルのトリートメントはここで受ける。バイオファンゴセラピーは温泉浴場の奥に専用ルーム(写真下)があり、オリジナルファンゴの熟成もここで。

スパの3大美作法

大切に祀られた自家源泉は鉄分と炭酸を含む冷鉱泉

なんとこれも主役はここで熟成した温泉ファンゴ

ボディマッサージは目的別のオリジナルオイルから選択



ボディマッサージオイルを選ぶ時、香りだけでなく期待できる効能も一緒に書かれているシートが付く。セルライト除去、食欲抑制の文字が目釘付けに。グレープフルーツなどの柑橘系オイルは脂肪の分解をサポートしてくれるのだから。結局二人ともこれをセレクト。温泉で熟成したファンゴは超なめらかな感触。温泉へ行く途中に祀られている自家源泉。飲んでみると鉄と程よい塩の味。13℃の冷鉱泉だが加温して使用している。

アンナ×宏子の「旅スパ」美作法 3

撮影/三谷浩(ヘア・メイク/YOSHITAKA) T for MONDO (AVGVST) 取材/石井宏子(温泉ビューティ研究家) デザイン/鈴木徹也(デザイン事務所)